

Bulletin of Junior College Library Association

編集者：菅原春雄
発行者：もり・きよし
発行所：私立短期大学図書館協議会
〒181 東京都三鷹市牟礼4-3-1
東京女子大学短期大学図書館内
電話(0422-45-4145 内234)

1984. 2. No.14

地区活動報告 —東海・北陸地区で図書館実務講座開講等—

<北海道地区>

文部省がすすめている「学術情報システム」計画のその対象は、国立大学図書館を中心としたものであり、真に情報の提供を必要としている短大図書館については当分の間、その恩恵に浴することは期待できそうにない。その意味からも相互協力はむしろそれぞれの地域内における小規模図書館（当然のことながら短大図書館も含まれる）の充実をはかることを関係者は考えてゆかねばならない。したがって短大図書館としても、おのおの特性を生かした資料の整備充実をはかるべきであり、これは大学全体として真剣にとりくむべき問題であろう。

当地区において昨年からすすめている「北海道地区短大図書館所蔵逐次刊行物総目録」（参加15館）の編集も、実はそうしたことへの取組みの第一歩になればと考えている。その「目録」も、加盟館ならびに編集委員のかたがたのご協力により原稿はすでに完成し、間もなく印刷にかかり、4月一杯には刊行の予定である。

昨年秋の研修会は、9月21、22（水・木）の両日にわたっておこなった。

第1日目は、一昨年完成した北星学園女子短大図書館をお借りしておこない、午前、午後にはわたくし熱心な研修・討議を展開した。

第2日目は、国立国会図書館から石山洋氏（外国逐次刊行物の諸問題）について講演会を開催した。

これには、加盟16館からの24名をはじめ、公共10、大学19、専門11および学校5の各館種から約70名が集まり、2時間半に及ぶ講演に熱心に聴きいていた。

当地区協には現在16館が加盟しているが、なお未加入館がある。今後はこれらに対する加盟促進が課題になるう。

（'84.1.31・記）

<東北地区>

NDC 50周年記念と研修会

図書館業務の中でもっとも肝要な「整理業務」に大きな貢献をしてきた「日本十進分類法」（NDC）が発表以来、昨年58年をもって、記念すべき50周年をむかえた。また、もり・きよし先生を中心とした「青年図書館員連盟（LYL）」に大きな示唆を与えた間宮不二雄氏苦心の邦訳である「DEWEY十進分類法導言」が発表されてからは55年目にあたっている。

NDCの創案と作成については、よき指導者間宮不二雄氏をいただくもり・きよし先生と、新進気鋭の「青年図書館員連盟」の方々によるものであるが、分類法についての将来にわたっての洞察と客観性のある広大な視野のもとに分類における基幹的な構成を樹立されたのは、もちろん、もり・きよし先生である。

現在の日本図書館界の興隆を見るとき、そのもっとも大きな貢献をなされたのは、もり・きよし先生であり、この意味において、先生はわが国、図書館界における「国宝的存在」であり、また、国際的には本邦図書館の一翼を代表する「巨人」と申すべきであろう。

昨年、たまたま、先生が「喜寿」を迎えられたのを機会に、学恩・ご指導を受けたもの300名、全国より相集いて、首都にて「喜寿祝賀の宴」を開催し、500ページに及ぶ「もり・きよし先生喜寿記念論文集」を先生に献呈申しあげたことは、宜（むべ）なるかな、の感が深い。

図書館界にとっての清冽な、心温まる快挙であった。

嘗て、「青年図書館員連盟」のパイロットとして縦横の活躍をされた当時の先生は、長身白哲、明朗にして談論風発の快男児であった、と伝えられているが、現在、われわれ「私短図協」会長としての先生は常に温和な笑みをたたえた銀髪を瀟洒たる紳士となられた。

唯、青年期とかわりないのは、談論風発、いよいよ冴えてこられた明快犀利な論調である。

昨年、昭和58年11月14日、「私短図協」東北地区支部定例研修会に、もり・きよし先生は、東北地区支部加盟館会員一同のたつての要望を諒承され、御繁務の中を講師としてお出でになられた。

今回の研修テーマは、「短大図書館の資料整理部門における諸問題」であった。

研究主題設定については、加盟館全会員の希望の要約であったが、勿論、これは「レファレンス・サービス」部門と、「諸資料の整理」部門を現代図書館の緊要な二大機能とする加藤宗厚、もり・きよし両先生の定説に従ったまでである。

講師のもり先生は、今回の研修会に少しでも参加者にメリットがあるようにと配慮され、講義草案をB4用紙1枚にボールペンでびっしり書かれ、直ちにコピーできるようにして研修会の10日前に送付してこられた。

お蔭で、われわれは研修会前に先生の御講義の草稿を拝見して準備を進めることが出来た。われわれ加盟館側からは、日常の整理部門業務を進める上で当面する問題点をアンケートによって求め、先生の御講義の参考までお送り申し上げた。

○会場 仙台市榴ヶ岡「仙台郵便貯金会館」

東北新幹線仙台駅より徒歩15分、新装の会館で、東京より来仙のもり先生、それに東北六県より参加の会員に至便の会場を選定した。

研修会当日は、青葉城下、杜の都仙台は晩秋、快晴の好日であった。

元気いっぱい、会場に到着されたもり先生は早速、御講義を開始され、休憩時間も取られず、明快、達意のお話を進められたが、NDC50年ということと、若い司書たちの参加があったので、つとめて平易にと努めて話されたのはまことにありがたいことであった。

50年前、「青年図書館員連盟(YL A)」結成時の日本の図書館界の状況、間宮不二雄先生のこと、NDCの最初の草案「和洋図書共用十進分類表案」作成の苦心、それにわが国における最初の「共通分類表」として、そのもっとも本質的な特色としての共通性・適応性・一貫性・簡素化という従来になかった革新的な性格づけに、改訂の度毎に取り組んでこられたこと、また、この間にまつわるエピソードの数々など先生の御著書にも記されていない興味ある事項を語られ、一同を魅了された。

また、具体的には配架分類としてのNDCの望ましいケタ数をどう考えたらよいか、洋書の場合の扱い方、図書記号について、シェルフリストの効果的な使い方、書

誌・索引の整備法など適切な指導を行われた。

また、会員からの双書扱いと単行本はどのような基準で決められて等々の質問に懇切明快な解説を与えられた。NDCの将来の問題、NDC関連の諸資料、今後の「整理業務」部門の望ましい在り方など(別稿にして本稿では省略)。

研修会後、「もり・きよし先生を囲む懇親会」を開催したが、もり先生は和気藹々の内に、地区会員の一人一人と親しく語られ、人間もり・きよし先生の面目を示されたのは参加者一同にとっての大きな感激であり、深い印象を受けたことであった。

翌日、もり先生は東北大学附属図書館・宮城県立図書館に寄られ、館長・館員の方々と懇談の後、東北新幹線で帰京された。

今回の研修会では幹事館の仙台白百合短大図書館長宮城清先生に殊の外御協力いただいたことを感謝します。

(中村 泰正)

<関東甲信越地区>

昭和58年度の地区総会を3月下旬頃に開催する予定で準備を進めている。なお出来れば当日講演会(講師、テーマ、場所等未定)も予定している。

<東海・北陸地区>

<会報10号 33ページ 270部 58.7.1発行>

内 容

1. 昭和58年度第1回幹事会記事
2. 昭和58年度東海地区研修・見学会記事
3. 図書館の近況(晓学園短期大学)
4. 相互協力体制について
5. 名簿(会員名簿、役員名簿、図書館職員名簿)

<昭和58年度総大会>

日 時:昭和58年8月24日 午前11時30分~午後5時

場 所:聖徳学園女子短期大学

出席者:20校 31名

1. 総 会 午前11時30分~12時

議長:中日本自動車短期大学 薮下 学
協議事項

- (1) 昭和57年度事業報告及び決算
- (2) 昭和58年度事業計画及び予算
- (3) 昭和58年度中間報告
- (4) 雑誌目録刊行中間報告
- (5) 図書館実務講座計画について
- (6) 昭和59年度総大会会場校について

以上の議事について、可決、承認された。

2. 研究会 午後1時～2時30分

司会：大垣女子短期大学 天野 信定

テーマ：昭和58年度私立短大図書館担当者研修会
・分科会の伝達研修

- (1)「短期大学図書館の整理業務スタッフマニュアル
愛知淑徳短期大学 夏目 あさゑ
- (2)「短期大学図書館の機械化」
一宮女子短期大学 中島 美砂子
- (3)「短期大学図書館の管理運営」
愛知淑徳短期大学 林 勇一
- (4)-1「短期大学における図書館利用教育」
暁学園短期大学 岡崎 黎子
- (4)-2「短期大学図書館職員の研修」
暁学園短期大学 岡崎 黎子

3. 見学会 午後3時10分～5時

岐阜県立美術館

閉会 午後5時

〈図書館実務講座第1回実行委員会〉

日時：昭和58年10月5日午後2時～4時

場所：愛知淑徳短期大学

実行委員

- 大垣女子短期大学 天野 信定
- 愛知淑徳短期大学 夏目 あさゑ
- 名古屋短期大学 鈴木 明日香
- 山田家政短期大学 永浜 美砂子

審議内容

1. 講座内容（第1期）

第1回 58年11月30日 愛知淑徳短期大学

図書館資料の受入と整理 講師 林 勇一氏

第2回 59年5月31日 大垣女子短期大学

逐次刊行物・視聴覚資料の整理 講師 林 勇一氏
天野信定氏 鈴木明日香氏

第3回 59年8月下旬 愛知淑徳短期大学

簡易図書修理・パンフレットの作り方

講師 林 勇一氏

2. 修了証書

3回の課程修了者 本部長より修了証書が授与される。

〈図書館実務講座 第1期 第1回〉

主催：私立短期大学図書館協議会（本部）

日時：昭和58年11月30日 午前10時30分～午後4時

場所：愛知淑徳短期大学

受講者：20校（会員外3校）26名

進行係：大垣女子短期大学 天野 信定

名古屋短期大学 鈴木 明日香

講座内容：図書館資料の受入と整理

講師：愛知淑徳短期大学附属図書館事務長
林 勇一氏

〈会報11号 19ページ 150部 58.12.1発行〉

内容

1. 総大会（昭和58年度）記事
2. 図書館の近況
（中日本自動車、豊橋、大垣女子、名古屋聖霊）
3. 業務報告（中部女子 金城）
4. 図書館実務講座（東海地区）実行委員会報告
5. 北陸地区活動報告
6. 昭和58年度図書館調査票

〈近畿地区〉

〈地区幹事会〉

昭和58年9月13日 於：神戸山手女子短期大学

協議事項 ①秋の研修会（図書館見学）

②59年度近畿地区総会のもち方

③雑誌の分担保存問題

〈研修会—図書館見学〉

見学館：大阪樟蔭女子大学図書館

日時：昭和58年11月12日（土）午後2時～4時

参加者数：27館43名

東大阪市小阪にある大阪樟蔭女子大学図書館を訪ねる。木村館長の新図書館建設に至るまでの苦心談にいつもながら冷飯を食わされる図書館はどこも同じだなと思う。また当初、当局から示された案に対し、館員の意見をとり入れるよう強力に働きかけ、ついに隅々にいたるまで館員の意見をとり入れたプランにもっていったという話に一同感心。そのあと懇切ていねいな館員の方の案内で2班にわかれて見学。館内の説明は省くが、館員の意見を中心としたプランに基づいているからこまかい配慮が行届いている点が印象に残った。良い図書館を建てて学生の利用も増え、教員も喜んでいるということがばが耳に残った。

〈新規加盟館〉

近畿大学青踏女子短期大学図書館

近畿地区加盟館は52館となった。（59年1月現在）

〈中国・四国地区〉

○役員会開催

昭和58年10月26日夕、全国図書館大会（山口）参加の機会を利用して、理事、幹事、監事の役員会を開催、本年度の反省、今後の進め方を協議

＜九州地区＞

- 九州地区私立短大雑誌目録現在作成中。
- 昭和59年総会および研修会を59年4月24日(火)長崎の長崎純心女子短大で行うよう現在交渉中。又ひきつづき6時より出島会館で、公立、私大、私短、合同の懇親会を行う予定。

～入会案内～

あなたの館も入会しましょう！

設立 私立短期大学図書館協議会は、短大図書館の当面する問題解決や相互協力によってより一層発展向上に寄与することを目指し、昭和52年9月発足した。

会勢 昭和59年1月現在 236 館

組織 会長、理事、監査、幹事

- 事業**
1. 会報(年3)研究誌「短期大学図書館研究」他出版物の刊行
 2. 短大図書館に関する調査研究及び知識の普及
 3. 研究会、講習会、講演会、見学会などの開催並に研究の助成
 4. その他短大、短大図書館の発展向上のため必要と認められる事業

活動 全国7地区に分け、自主的な活動を行っている。又本部と共催して行うこともある。総会、研修会、見学会、講演会他目録作成、各種出版物刊行等。

会費 年8,000円(昭和59年度現在)

照会 事務局<私立短期大学図書館協議会>

〒181 東京都三鷹市牟礼4-3-1

東京女子大学短大部図書館内

TEL 0422-45-4145

又は名簿中の○印の理事校(館)へ問合せてください。

私立短期大学図書館協議会

地区別加盟館一覧表 59.1 現在

＜北海道地区＞

- | | |
|------------|-----------|
| 文化女子大室蘭短大 | 国学院女子短大 |
| 函館大谷女子短大 | 釧路短大 |
| 北海道自動車短大 | 帯広大谷短大 |
| 北海道女子短大 | 小樽女子短大 |
| ○北海道武蔵女子短大 | 札幌大谷短大 |
| 北海道拓殖短大 | 静修短大 |
| 北星学園女子短大 | 専修大学北海道短大 |
| 岩見沢駒沢短大 | 天使女子短大 |

＜東北地区＞

- 青森明の星短大
 - 福島女子短大
 - 祇園寺学園短大
 - いわき短大
 - 三島学園女子短大
 - 聖園学園短大
 - 桜の聖母短大
 - 聖霊女子短大
 - 聖和学園短大
 - 仙台百合短大
 - 尚絅学院短大
 - 羽陽学園短大
 - 山形女子短大
- ### ＜関東・甲信越地区＞
- 青葉学園短大
 - 青山学院女子短大
 - 文化女子大短大
 - 文教大学女子短大
 - 文京女子短大
 - 千葉短大
 - 千葉経済短大
 - 千葉明德短大
 - 調布学園女子短大
 - 中央商科短大
 - フェリス女学院短大
 - 学習院女子短大
 - 白鷗女子短大
 - 茨城女子短大
 - 茨城キリスト教短大
 - 実践女子短大
 - 城西大学女子短大
 - 女子聖学院短大
 - 十文字学園女子短大
 - 関東短大
 - 関東学院女子短大
 - 川村短大
 - 国学院栃木短大
 - 共立女子短大
 - 前橋育英学園短大
 - 目白学園女子短大
 - 身延山短大
 - 武蔵野女子大短大
 - 長岡短大
 - 新潟短大

新潟青陵短大

- 日本経済短大
- 日本キリスト教短大
- 日本赤十字中央女子短大
- 日本赤十字武蔵野女子短大
- 日本体育大学女子短大
- 桜美林短大
- 小田原女子短大
- 立教女学院短大
- 相模女子大短大
- 埼玉純真女子短大
- 三育学院短大
- 聖隷学園短大
- 聖徳学園短大
- 信州豊南短大
- 白梅学園短大
- 静岡英和女学院短大
- 昭和学院短大
- 昭和音楽短大
- 杉野女子大短大
- 淑徳短大
- 拓殖短大
- 玉川学園女子短大
- 田中千代学園短大
- 桐朋学園大学短大
- 戸板女子短大
- 東海大学短大
- 常盤学園短大
- 常葉学園短大
- 東京文化短大
- 東京女学館短大
- 東京女子大短大
- 東京女子体育短大
- 東京純心女子短大
- 東京工芸大学短大
- 東京成徳短大
- 東洋英和女学院短大
- 東横学園女子短大
- 土浦短大
- 鶴川女子短大
- 鶴見大学女子短大
- 上田女子短大
- 和洋女子短大
- 山梨英和短大
- 山脇学園短大

<東海・北陸地区>

愛知学泉女子短大
 ○愛知淑徳短大
 暁学園短大
 中部女子短大
 岐阜医療技術短大
 北陸学院短大
 市邨学園短大
 一宮学園短大
 仁愛女子短大
 金沢女子短大
 金城短大
 瑞穂短大
 名古屋短大
 名古屋学養短大
 名古屋聖霊短大
 名古屋女子商科短大
 中日本自動車短大
 大垣女子短大
 岡崎女子短大
 柳城女子短大
 星稜女子短大
 聖徳学園女子短大
 正眠短大
 高山短大
 東邦学園短大
 東海学園女子短大
 富山女子短大
 豊橋短大
 山田家政短大
 <近畿地区>
 梅花短大
 羽衣学園短大
 平安女学院短大
 姫路学院女子短大
 日ノ本学園短大
 被昇天女子短大
 兵庫女子短大
 池坊短大
 華頂短大
 関西外国大短大
 近畿大青踏女子短大
 近畿大豊岡女子短大
 金蘭短大
 神戸学院女子短大

○神戸山手女子短大
 光華女子短大
 京都文化短大
 京都文教短大
 京都外国語短大
 京都芸術短大
 漢川相野学園短大
 奈良文化女子短大
 奈良芸術短大
 奈良佐保女学院短大
 大阪青山短大
 大阪千代田短大
 大阪学院短大
 大阪女学院短大
 大阪女子学園短大
 大阪女子短大
 大阪城南女子短大
 大阪基督教短大
 大阪成蹊女子短大
 大阪薫英女子短大
 大谷女子短大
 大手前女子短大
 P L 学園女子短大
 プール学院短大
 嵯峨美術短大
 堺女子短大
 成安女子短大
 聖母女学院短大
 四天王寺国際仏教大短大
 頌栄短大
 松蔭女子学院短大
 樟蔭東女子短大
 相愛大学・相愛女子短大
 帝国女子短大
 帝塚山短大
 帝塚山学院短大
 常盤会短大
 和歌山信愛女子短大

<中・四国地区>

梅光女学院短大
 中国短大
 愛媛女子短大
 比治山女子短大
 広島文化女子短大
 今治明德短大

順正短大
 上戸学園短大
 高知学園短大
 松山商科大短大
 ○美作女子大短大
 桃山学院短大
 ノートルダム清心女子短大
 大下学園女子短大
 山陽女子短大
 聖カタリナ女子短大
 四国学院大学短大
 四国女子大学短大
 鈴峯女子短大
 高松短大
 徳島工業短大
 鳥取女子短大
 宇部短大
 <九州地区>
 別府大学短大
 別府女子短大
 筑紫女学園短大
 第一保育短大
 ○福岡女学院短大

福岡女子短大
 銀杏学園短大
 東筑紫短大
 純心女子短大
 鹿児島短大
 鹿児島女子短大
 鹿児島純心女子短大
 活水女子大短大
 近畿大学女子短大
 熊本短大
 熊本音楽短大
 九州女学院短大
 九州大谷短大
 緑ヶ丘学園延岡短大
 長崎ウェスレヤン短大
 中九州短大
 扇城学園中津女子短大
 沖繩キリスト教短大
 佐賀女子短大
 佐賀龍谷短大
 精華女子短大
 西南女学院短大
 尚絅短大

『長野県私立短期大学図書館雑誌1983』

刊行される。

長野県内の私立短大8館の所蔵する和文、欧文雑誌を昭和58年4月1日現在で収録したもので、1県内館で協力して作成した目録類としては、全国的に見ても、はじめてではないでしょうか。

○申込先：〒380 長野市若里 298 県立長野図書館内
 長野県私立短期大学図書館研究会

○頒布：1部500円(送料170円)
 図書館科学会年報昭和57年度版<図書館科会(昭和58年11月)> P25より収載

私立短期大学図書館協議会規約

(名称)

第1条 本会は私立短期大学図書館協議会と称する。

(目的)

第2条 本会は、私立短期大学図書館相互の連絡並びに研究にあたり、図書館の発展向上を図ることによって私立短期大学の使命達成に寄与することを目的とする。

(会員)

第3条 本会は、私立短期大学図書館をもって組織する。

(事業)

第4条 本会は、第2条の目的を達成するため、次の事業をおこなう。

- 1 会報等の発行
- 2 短期大学図書館に関する調査研究および知識の普及
- 3 研究会・講習会などの開催ならびに研究等の助成
- 4 その他第2条の目的達成のため必要と認められる事業

(役員の種類)

第5条 本会に、次の役員を置く。

- 1 会長 1名
- 2 理事 若干名(内1名を常任理事とする)
- 3 監査 2名
- 4 幹事 若干名

(役員を選出)

第6条 会長、監査は総会で選出する。

理事は、地区協議会が選出したもの(以下地区選出理事という)及び会長が推薦し総会の承認を得たもの(以下会長推薦理事という)とする。地区選出理事及び会長推薦理事の定数は、総会でこれを定める。

常任理事は、理事の互選によりこれを定める。

幹事は、理事会の議を経て会長が委嘱する。

役員については、在職する会員校の承認を経て個人をあてる。

(役員の仕事)

第7条 会長は、この会を代表し会務を総理する。

常任理事は、会長を補佐し、会長事故あるときはこれを代理する。

理事は理事会を組織し、重要な会務を審議決定する。

監査は、この会の会計を監査し会長に報告する。

幹事は、会務の処理に関して常任理事を補佐し執行する。

(役員の仕事及び欠員の補充)

第8条 役員の仕事は2年とする。但し再選を妨げない。理事及び監査に欠員を生じた時は、直ちに補充する。

この場合における役員の仕事は、前任者の残任期間とする。役員は、その任事が満了した場合においても、後任者が決定するまでの間は、その仕事を継続しておこなう。

(会議)

第9条 本会の会議は、総会及び理事会とする。

総会は、会長が招集し、その議長は総会で選出する。

定期総会は、毎年1回開催する。但し、必要ある時は、臨時総会を開催することができる。

総会は、その構成員(会員校)の5分の1以上の出席がなければ成立しない。但し、構成員で出席できな

いものが、書面をもって自分の意志を表示するか、又は、他の構成員に表決権を委任したときは、総会に出席したものとみなす。

議決を要する事項は、出席員の過半数をもって決定し、可否同数の時は、議長の決めるところによる。

総会は次の事項を審議決定する。

- 1 主要な事業計画ならびに事業報告の承認
- 2 年次予算の決定ならびに決算の承認
- 3 規約及び規程の改正
- 4 会長及び監事の選出
- 5 その他運営に関する重要事項

理事会は会長が招集し、その議長となる。

理事会は、緊急案件については総会に代って、その権限を行なう。但し、次期総会において承認を得なければならぬ。

(地区協議会)

第10条 本会は、全国を数地区に分ち、地区協議会を設け地区活動を推進する。地区の分割及び地区協議会に関する通則は、別に定める。

(会計)

第11条 本会の経費は、会費その他の収入をもってあてる。会費は年額8,000円とし、本会の会計年度は、毎年4月1日から始まり3月31日をもって終る。

(事務局)

第12条 本会に事務局をおき、その場所は理事会の承認を得て会長が定める。

(会則の改正)

第13条 この規約の改正は、総会の議を経なければならない。

附 則

- 1 この規約は、昭和53年10月13日から施行する。

地 区 協 議 会 通 則

第1条 規約第10条の定めるところにより、次の地区協議会をおく。

- | | | | |
|---------|-----------|-----------|--------|
| 1 北海道地区 | 3 関東甲信越地区 | 5 近畿地区 | 7 九州地区 |
| 2 東北地区 | 4 東海・北陸地区 | 6 中国・四国地区 | |

②前項の各地区協議会は、原則としてその地区に所在する図書館をもって組織する。

第2条 各地区協議会は、その会則、代表者、役員および会員名簿を私立短大図書館協議会会長に届出なければならない。

②前項の届出事項に変更が生じたときもまた同じ。

第3条 地区協議会は、本部役員会と密接な連絡のもとに自主的な活動を行なうものとする。

第4条 地区協議会に次の役員をおくことができる。

- 1 地区協議会長
- 2 幹事
- 3 その他

第5条 前条の役員のうち地区協議会長は、私立短大図書館協議会理事とする。

第6条 地区協議会の経費は、私立短大図書館協議会の交付金その他をもってこれに当る。

第7条 地区協議会は、毎年1回以上その事業ならびに会計報告を私立短大図書館協議会会長に提出しなければならない。

件名目録について一辞書体目録から独立させて一

東洋英和女学院短期大学図書館 鷺谷 由美

東洋英和女学院短期大学図書館では、1954年度から辞書体目録を中心に整備し、著者・書名・叢書名などの他に、件名から検索できるように整理業務を行ってきた。件名は基本件名標目表改訂版をもとに、当館独自の件名も加えて採用している。

しかし、資料の増加と共に目録カードの数も増加し、カードの排列の複雑さを考え、この辞書体目録を分割することにふみきった。それには、他の目録との用途の違いからみて、利用者の検索の便をはかるには、件名目録カードを分離させるのが良いであろうとの判断から、件名目録と著者・書名目録の二本立てとすることになった。1983年度からのことである。

実際の分割作業は1983年3月の春休み期間中を利用して、館員4名が分担して行なった。そして、件名目録が独立した段階で、利用者が使いやすくなるためのいくつかの方法を試みたのでここに報告する。

1. 件名目録ケース前の掲示板に件名目録の説明と簡単な使い方の例を掲示した。
2. 件名すべてに見出しガイドを作成した。

従来の辞書体目録（ヘボン式アルファベット順に排列）には、アルファベットの見出しがファイルされていたが、件名目録を分離させるにあたり、単に排列・検索の基準となる文字のガイドだけでなく、件名そのものもガイド上に表示することにした。これにより、当館採用の件名がひとめでわかるようになり、同内容の資料がその見出しガイドのもとに集まることになった。その結果、従来行っていた件名目録カードへの件名のヨミのタイプ打ちが、実際上不必要となり（見出しガイドに件名と共にヨミも表記）、目録作業上の省力化ともなった。

3. 「を見よ参照」のカードも見出しガイドを利用して作成した。

当館採用の件名には、すべて一つ山の見出しガイドを作成したため、当館で不採用のことばからの案内いわゆる「を見よ参照」のカードが従来のものでは見出しガイドの山の間に埋没してしまう。そこで、「を見よ参照」も見出しガイドを利用し、(前述の見出しガイドとは色を変えて区別した)、ガイド上に直接「次の件名を見なさい」ということばに続き、当館採用の件名を書きこんだ。

「を見よ参照」のカードは件名の見出しガイドのすぐ後にくるようにしてあるので、見出しガイドは作成せず、一般の目録カードとは色を変えたカードを使用して利用者を導くようにしている。

件名目録の見出しガイド作成は、整理担当の館員3名で分担して1983年6月から作業に入り、12月末には全部終了した。ちなみに、件名見出しガイドは約5,500枚、「を見よ参照」のガイドは約600枚作成した。

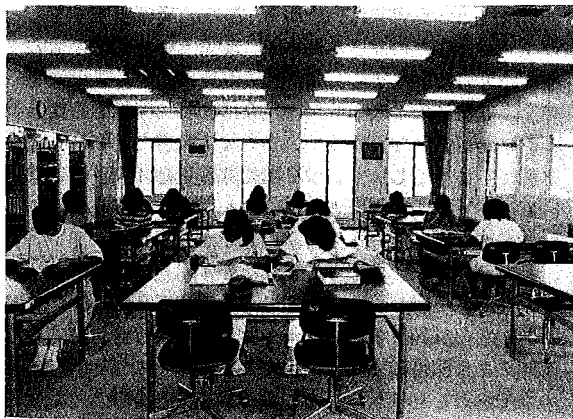
このように、件名目録カード1枚1枚を繰っていく作業を行なっていくと、件名の不統一が目につくようになった。これは旧版の基本件名標目表から改訂版に変更した際に未訂正のものがまだ残っていること、固有名詞の件名などで形が不統一のものがあるためである。そこで、現在は件名の見直し訂正作業を行ない、基本件名標目表へのチェックの確認、古い件名の訂正を行なっている途中である。

同時に、今まで作成していなかった固有名詞件名の典拠ファイルもカード形式で作成することにした。これによって、特に団体名の件名の統一をはかりたいと思っている。

件名目録にはまだまだ問題が多く、当館でも、排列基準の問題、基本件名標目表第3版への移行など未解決の問題が多い。件名索引、或いは人名件名のカードをとっている図書館は多いと思うが、まだ件名目録を作っている館が少ないことも、参考となる例がないという悩みになっている。しかし、件名目録を独立させると、件名を利用して検索を行なう学生が多いことに気がつく。初めはよく使い方もわからないようだが、一度利用するとその便利さがよくわかるという学生もいる。図書館員もレファレンスの回答などにしばしば利用している。ことばからのアプローチという親しみやすさ、わかりやすさが件名の持つ最大の利点であると同時に、広く普及したことば、正しいことば、新しいことばをたえず求めていくむずかしさもあわせ持っている。悩み、問題点を数多く抱えながら、件名目録の持つメリットを最大限に生かし、より使いやすく、役に立つものにしたいと思っている。

＜短大図書館めぐり 第12回＞

大谷女子短期大学図書館



書館長室も横について、これもまた阿部野台に比べれば夢のようです。面積は637㎡（阿部野台は326㎡）。それに保存図書館が女子大と共通の別館の一層目を占めています。ここに約10万冊入ります。閲覧室の収容冊数は約3万冊。

阿部野台の図書館が、小部屋より新館の3階へ移動したのが昭和38年、その頃の学生数は現在の半分以下。以後、学生数が徐々に増えるごとに、図書が増えるごとに閲覧机をひっつけて並べ、複数2連の書架を3連にし、窓をふさぎ書架をならべ、カウンター前のスペースまで狭くなっていました。もう図書資料で大爆発というところで、新学舎に移ることができました。狭い狭いスペースの中で日頃夢みていたこと一理想は、「短期大学図書館建築の試み」^注でのべさせて頂いたことがあります。現実のスペースにあわせて盛り込んだことがらを紹介させていただきます。

1. 冷房が入りました。ただし、閲覧室の一部と、事務室、図書館長室。
2. 積層書架内に移動式書架。閲覧室の書架のスペースが狭いので、2層の積層の2層目の1/4に電動スタックを入れました。ここでは、紀要のバックナンバー、図書館関係資料、柳原文庫・西岡文庫・松村文庫などの寄贈図書を納めています。なお、書架には約3万冊しか収蔵できませんので、最近10年間に購入した図書を（英米文学・児童文学他一部の分野はすべて）置いています。あとは、別館に保存しています。
3. 4人掛の閲覧机。6人掛は見た目も狭そうで、4人掛にしたいと永年思っていました。
4. キャレルを入れました。一人で使えるキャレルも、願望の一つでした。学生、教員とも評判がよく、よく使われています。
5. 雑誌コーナーにソファー。雑誌架はすべて、ピジョン式にし、140種の雑誌がここで見るができます。ソファーを二脚置きました。「ノンノ」「るるぶ」も入れました。

4階にあって、窓がたくさんあり、明るい上に、室内が白とベージュ、机・辞書用書架等は木製、それに、なぜか場違いな室内照明もついていて、ちょっとした喫茶店のような雰囲気でもあります。

新しい図書館で、一層のサービスに励もうと、館員一同希望に胸をふくらませています。

（前川 和子）

図1.
図書館の配置図
(昭和59年1月現在)

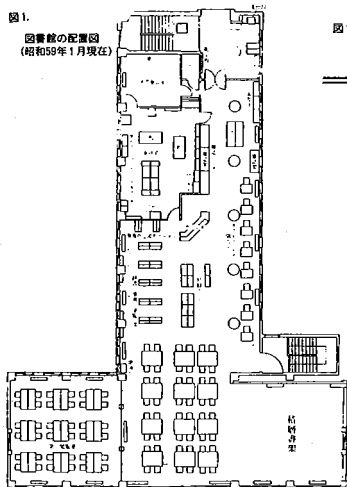
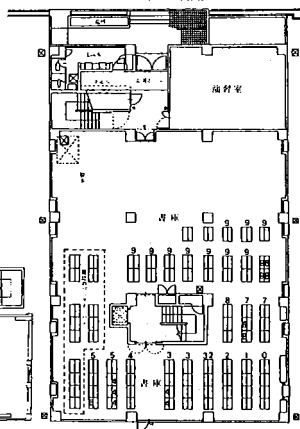


図2.
図書館別館の配置図(昭和56年4月現在)
(女子大図書館南館)



大阪の南、近鉄南大阪線を阿倍野橋から南に下って約40分、線路も単線になり、着いた駅名は滝谷不動駅。毎月28日は「お不動さん」で善男善女でにぎわいます。丘に向かって歩くこと15分で新学舎到着。図書館は門入ってすぐの本館4階に位置しています。ここからの眺望は素晴らしいものです。春、夏、秋そして冬と、金剛、葛城山はじめ自然の移りゆく様をながめることができます。

さて、3月に大阪阿部野より移転し、4月より開館、9ヶ月たちました。移転のややくしさを、忙しさも今は夢のよう。少し広くなった閲覧室、広くなった事務室、図

＜短大図書館めぐり 第13回＞

目白学園女子短期大学図書館

西武新宿線中井駅より8分、高台の住宅地にレンガ色の大きな建物が緑に囲まれております。佐藤重遠記念館と称し、1、2階が総合図書館、3、4階が781席の講堂、地下が体育館の複合施設で、延床面積5,945㎡あります。この内図書館は1,400㎡、昨年11月12日に開館いたしました。

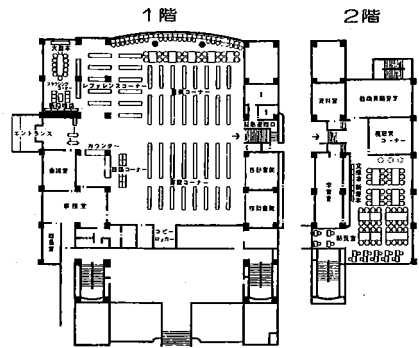
図書館入口は短大校舎に向っており、他施設の動線とは交叉しないよう設計されていますので、独立館と同じです。講堂からの音、体育館からの声がどれ位響いてくるか、まだ図書館だけの使用ですのでわかりませんが、敷地の限られている所では、よい実験例になると思います。

ブックディテクションシステムのバーを押して入りますと、目の前に立ち並ぶ薄いピンクの書架に、どんな印象を受けられますでしょうか。この色を決定するに当たり、三つの候補を手に、長いこと話し合いました。ナラ材の側板をつけるにしても、数が多くなった場合のことが不安でしたが、明るく入りやすい図書館という構想のもと、業者の方も初めてというピンクの書架が誕生いたしました。これに合わせて、1階サインもピンク系でまとめ、2階はブルーです。色の氾濫と思われるかもしれませんが、高い天井に救われているようです。

入りまして右手のカウンターは、将来の機械化に備え、すべて低くいたしましたので、貸出し手続きの氏名記入をなくしました。これは好評です。司書4名職員1名の内、常に2名がカウンターに座りますが、仕事机を設け、学生の動きにあわせてカウンター業務をおこなうようにしています。

参考図書の高書架は、床から120cm、書架上で本を広げて調べることのできる高さで、50席という1階座席の不足を補っております。8段柵の高書架に、移動書架を含めて収蔵能力138,000冊。現在は約45,000冊で書架のピンクが目立っていますが、まもなく図書でその色も隠されてしまうでしょう。中2階の閲覧室は70席、学習室30席。チャレルの利用と共に、グループで相談しながら勉強してもよいという学習室に人気があります。

長い間の夢が形となって現れた今、学生教職員のために、いかに運営し、潜在している要望に応じてゆくかが、これからの課題です。レポート作成の時だけ走ってくれば間にあう図書館でなく、1,428名の学生の自発的学習の場であることはもちろんですが、美術書をひらく気になれる図書館。全時間的に学生に浸透し、図書館で過した豊かなひと時が、卒業後の思い出になる、そのような空気を満たしたいと念じております。(小林 美智子)



分類記号の「助記性」という造語は

昨秋、私は東北地区協議会の研修会に出席した。たまたま、分類記号のMnemonic character を「助記性」と訳したのは誰かとの質問がでた。なるほど一般の英和や和英辞典には「記憶を助ける」とあり、国語辞典にも「助記」という熟語は見当たらない。私も要を得た造語だと思いが誰によるか知らない。おそらく昭和初期頃でしょうとアイマイな返事しかできなかった。

帰ってから関係文献で調べてみたが、つきとめられなかった。しかし活字に表われた範囲では衛藤利夫『図書分類の論理的原則』（この冊子は大正15刊であるが、底本は大正13年に奉天図書館で発行）のなかで「助記性」の訳語がある。これが初出ではなからうか。づいて、

乙部泉三郎『デュウィ十進分類法の解説及応用指進』（昭3刊）では「助記性」の節があり、また同年の『團研究』第1巻（LYL）にも加藤宗厚が「助記的要素」と訳され、私の『和洋図書共用……案』では「助記表」を使っている。ほかには毛利宮彦『図書館学講座』（昭3—6刊）の3章では「記憶的要素があること」となっている。これだけの資料では、衛藤先生による造語らしいと断定できないが、より詳かに知る由もない。

因に、間宮不二雄訳の『Dewey 十進分類ノ説明ト導言』（昭5）のなかでは助記性とあるが、先生が大14年に上梓されたわが国初の『図書館辞典』にはMnemonics は収録されていない。お隣の中国・盧震京『図書館学大辞

典』(民国29, 昭和15刊)には助記符号と助記表の2項目が収められている。なお、図書館用語には「総記」「記入」「件名標目」とか「帯出者」など一般の国語辞典に載っていないコトバが多いと思うが。

(もり・きよし)

＜事務局報告＞

△ 会 勢 北 海 道 16 近 畿 52
東 北 13 中 ・ 四 国 23
関 東 ・ 甲 信 越 75 九 州 28
東 海 ・ 北 陸 29 (合 計 236)

△ 新規加盟館紹介 (会報13号以下追加)

○ 東北地区

・いわき短大図書館

○ 関東・甲信越地区

・実践女子短期大学図書室
・城西大学女子短大図書館
・信州豊南短期大学図書館

○ 東海・北陸地区

・岡崎女子短期大学図書館
・豊橋短期大学付属図書館
・岐阜医療技術短期大学図書館

○ 近畿地区

・近畿大学青踏女子短大図書館

△ 役員会

本部役員会

・昭和58年度第4回〔58.10.20(木) J L A〕

報告事項

- ① 会報13号の発行について
- ② 昭和58年度総会について
- ③ もり会長喜寿記念祝賀会について
- ④ 昭和58年度短大図書館全国研修会について
- ⑤ その他

協議事項

- ① 本部役員会の任務分担の件
- ② 「短期大学図書館研究」第5号編集の件
- ③ 「図書館実務講座」の開催と、東海北陸地区協議会への委託の件
- ④ I F L A 日本大会への専門委員の件
- ⑤ その他

・昭和58年度第5回〔58.12.15(木) 目白学園女子短期大学図書館〕

報告事項

- ① 地区協議会の活動について
- ② I F L A について
- ③ その他

協議事項

- ① 「短期大学図書館研究」第5号の件(継続)
- ② 「会報」第14号の件
- ③ 本部役員会の任務分担の件(継続)
- ④ その他

・昭和58年度第6回〔59.1.26(木) 日本図書館協会報告事項

- ① 事務局報告(会勢状況)
- ② 会報14号編集状況
- ③ その他

協議事項

- ① 昭和59年度総会の件〔継続〕
- ② 昭和59年度全国研修会の件〔継続〕
- ③ 「短大図書館研究No.5の件」〔継続〕
- ④ その他

△ 役員 の 役 割 分 担 決 る

会 長	もり・きよし(青葉学園短大)
常任理事	有岡 章(鶴見大女子短大)
理 事	
”	会 報 菅原 春雄(文教大女子短大)
”	紀 要 網本 正己(調布学園女子短大)
”	相 談 片山喜八郎(国学院栃木短大)
”	事 務 局 渡辺 敏一(東京女子大短大)
”	広 報 鈴木 英二(千葉経済短大)
”	研 究 山井 康司(日本体育大短大)
”	出 版 高橋 道枝(鶴見大女子短大)
”	研 修 井上千賀子(共立女子短大)
”	吉岡 盤彦(相模女子大短大)
”	関 東 高尾 清(日本経済短大)
監 査	宮島 敬久(共立女子短大)
	松本 久子(関東学院女子短大)
幹 事 関 東	中林美智子(目白学園女子短大)

編集後記

会報第14号をお届けいたします。

2月は年度末で、期末試験、入学試験、また新年度準備で何かと忙しい今頃と思います。80年代は情報化社会と並んでニューメディア時代と言われております。図書館界でも注目しましょう。

(すがわら記)

出版物案内

私立短期大学図書館協議会

○会報 年3回 現在14号

○資料組織化の実践

遠藤英三著 B5判 411頁

頒布価格 2,300円

申込先 私立短期大学図書館協議会

〒181 東京都三鷹市牟礼4-3-1

東京女子大学短期大学部図書館内

電話 (0422-45-4145 内234)

○私立短期大学図書館総覧 1979.3.31

B5版 700頁 頒布価格3,500円

○私立短期大学図書館総覧 一集計・分析一

1980.10.31

B5版 66頁 頒布価格2,500円

○短期大学図書館研究

1号 80.3.31

2号 81.3.31

3号 82.3.31

4号 83.3.31

5号 近刊

頒布価格 各2,800円

頒布価格 各3,000円

○図書館員になるには〔資格と就職のガイド〕

菅原春雄編著 A5判 176頁

頒布価格1,500円

申込先 株式会社 新日本印刷

〒105 東京都港区虎ノ門1-25-12

電話 (03-503-0428)

○関東・甲信越地区私立短期大学図書館雑誌紀要

総目録 1980 兼目 恵子編 55.7.31発行

B5判 253頁 頒布価格 3,300円

申込先 〒328 栃木市錦町5-26

ふろんていあ 電話 (0282-24-6081)

○近畿地区短期大学雑誌目録 1980.3月末現在

55.9.1発行 B5判 194頁 頒布価格3,000円

申込先 丸善大阪支店またはお近くの丸善へ

○同 補遺版 1981.7.5現在

B5判 52頁 頒布価格送料共500円

申込先 〒602

京都市上京区下立売通烏丸西入ル

平安女学院短期大学図書館

電話 (075-431-1181)

○東海・北陸地区私立短期大学図書館雑誌目録

1982 B5判 頒布価格送料共3,000円

申込先 〒464 名古屋市千種区桜が丘23

愛知淑徳短期大学附属図書館内

私立短期大学東海・北陸地区図書館協議会

電話 (052-781-1151)

○日本十進分類法新訂7版-8版比較表

北九州司書の会編 私立短期大学図書館協議会1983

109頁 A5判 頒布価格送料共800円

申込先 〒803 北九州市小倉北区井堀1-3-2

西南女学院短期大学図書館内 北九州司書の会

電話 (093-561-2631-313)

□故間宮不二雄先生13回忌追悼出版□

DEWEY十進分類法導言 間宮不二雄訳

一昭和5年版の復刻一

発行：不二会（代表 もり・きよし）

菊判 116頁

＜希望の方は下記へ申込んでください＞

株式会社 新日本印刷

〒105 東京都港区虎ノ門1-25-12

電話 (03-503-0428)